

イエス・キリストの 十字架とは



AD 30年の4月、エルサレム郊外の丘で、イエス・キリストは十字架に架かって死なれました。この出来事は、とても有名な歴史的事実です。

そして、皆さまもイエス・キリストが十字架に架けられている絵を見られたことがあるのではないのでしょうか？

どうして、十字架刑という最もむごい死刑に処せられた人物が全世界において有名であり、これほどまでに注目されるのでしょうか？そこには、いったいどんな意味があるのでしょうか？

その意味を理解するためには、まず自分が罪人であることを知らなければなりません。罪とは「**神から離れていること**」を意味します。

そこから多くの具体的な罪が生じていきます。

嘘、憎しみ、争い、ねたみ、むさぼり、盗み、高慢、愛の欠如・・・・・・これらの罪は自分に悪影響を及ぼし、また周囲に悪影響を及ぼします。

たとえば、争いというのは憎しみの連鎖反応です。どんどん問題が大きくなっていき收拾がつかなくなります。自分も相手も周囲の人々も不幸に陥っていきます。争いは個人レベル、社会レベル、国家レベルで多く見られるものです。こういった問題に人間は悩み苦しみ、解決ができないのです。罪は本当に人間を苦しめています！

わたし自身もこれまでの人生で、罪という問題について悩み苦しむ途方に暮れてきたものです。時に被害者となり、時に加害者となっていたのです。自分でも気付かないまま人を傷つけていたということもあり得るのです。

イエス・キリストは、このような人間の解決できない罪、背負いきれない罪の数々をご覧になって、悩み苦しむ私たちをあわれんでくださり、この罪を身代わりに背負ってくださったのです。

この御方のもとで、私たちは罪の重荷をおろすことができるのです。

イエス・キリストのもとに来て、あなたの罪の重荷をおろしませんか？

AD 30年4月、イエス・キリストは全人類のすべての罪を身代わりに背負われました。そして、そのすべてを解決するために、身代わりに罪に対する神の怒り・のろい・刑罰をまとめて受け尽くしてくださったのです。

それは、本当に壮絶な時でした。

身体にむちを打たれ、十字架を背負って処刑場まで歩かされ、人々からあざけられ、ののしられ、つばをかけられ、裸にされ、いばらの冠をかぶせられ、両手両足を十字架に釘付けにされました。

そして、十字架の上で神の怒り・のろい・刑罰が容赦なく天から下され、イエス・キリストは肉体的にも精神的にも靈魂も苦しみ抜いて死んでいかれたのです。



それは、すべて罪人を救うためでした。

どうか、イエス・キリストの示されたあなたへの愛を仰ぎ見てください。

そして、同時にイエス・キリストに下された神の怒り・のろい・刑罰がどれほど壮絶なものだったのかということも見てください。

それは、本来ならば罪人が受けなければならないものであり、その罪人とは、わたしであり、あなたなのです。

そして、もしあなたがイエス・キリストのもとに罪の重荷をおろすことをせず、自分自身で罪を背負ったまま人生を歩み、そのまま死んでしまったとしたら、あなたがその神の怒り・のろい・刑罰を死後に受けなくてはならなくなります。

「人間には一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている」

(聖書 ヘブル9章27節)

聖書には、それは火と硫黄の燃える池、一度入ったら出ることができない永遠の苦しみ場所、泣いて歯ぎしりする場所、絶望的な場所、ゲヘナ、地獄であることがはっきり記されています。

絶対に行ってはならない場所として強く警告されています。



これは、脅しや詐欺や嫌がらせや利益目的で言っているのではなく、聖書の語る記述をありのままに真実として信じる者として、心からの愛をもってお伝えしています。

どうか皆さま、聖書をお読みになってその真実性を確かめてください。

そして、神がこの世界も人間も造られ、人間を日々養い生かしてくださっているにもかかわらず、人間は神から離れてさまよい歩く罪人であるということを知ってください。

そして神のもとへ立ち返る（悔い改める）方となってください。

そして、十字架に架かって死なれ、葬られ、三日目に復活された神の御子、救い主、神なるイエス・キリストを信じ、罪の重荷をおろし、罪の赦しをお受けになってください。

そして、永遠のいのちを受けて、喜びをもって神とともに人生を生き、死後は地獄ではなく、喜びにあふれた天国に行く方となってください。

「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。」

(聖書 ヨハネ伝14章6節 イエス・キリストのことば)



当教会は、エホバの証人、統一協会、モルモン教とは、一切関係がありません。

クリスマス 聖書講演会

2025

12/20 (土) 15:30~16:30

〃 19:30~20:30

12/21 (日) 10:30~12:00

〃 15:30~16:30

聖書のメッセージを分かりやすくお伝えします。

参加費・予約は不要です。託児もあります。

どなたでもご参加いただけます。お気軽にお越しください。

クリスマス 人形劇

「まいごのひつじ」

2025

12/6 (土) 14:00~15:30

＊3歳児～小学生向け

(保護者の方も参加できます)

＊人形劇を鑑賞します。

聖書からのおはなしを聞いたり、
賛美歌を歌ったりします。

プレゼントもあります。

＊参加無料・予約不要

＊お問合せは下記までお気軽にご連絡ください。

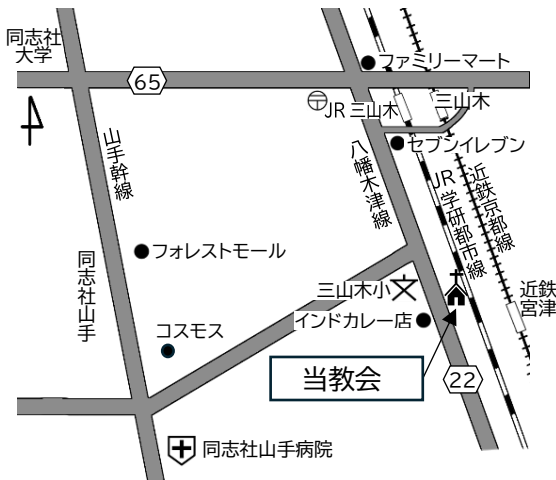
京田辺キリスト恵み教会

京都府京田辺市宮津灰崎 70-5 牧師：増山康友、依田朋之

☎ (0774)34-3227

✉ kyotanabe.cgc@gmail.com

教会ホームページ



いずれも
参加無料です。
託児の用意も
あります。

定例集会

	9:00~	こども礼拝
日曜日	10:30~	礼拝
	15:30~	聖書学び会
水曜日	10:00~	聖書学び会
	19:30~	祈り会
土曜日	14:00~	こどもクラス
	15:00~	聖書学び会

近鉄京都線・JR 学研都市線 三山木駅より徒歩 9 分
三山木小学校の南東 インドカレー店 向かい側
駐車場あります